

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・為替通信

プラスアルファ

インド

情報提供資料



2020年8月

景気
(実質)
GDP

Q1GDP成長率
+3.1%
前年同期比

PMI:購買担当者景気指数

物価

7月インフレ率
+6.9%
前年同月比

コア:食料・燃料・照明を除く(弊社試算)
インフレ目標: +4±2%

金融
政策

4.0%

中銀:インド準備銀行(RBI)

国際
収支

7月貿易収支
-48.3
億ドル

【景気底打ちも勢いは今一つ】

8月末発表予定の4-6月期実質GDPは前年同期比-20%程度が予想されている。7月PMI(総合)は前月比-0.6の37.2。新型コロナの感染拡大止まらず湿り気味。

【景気後退による低下起きず】

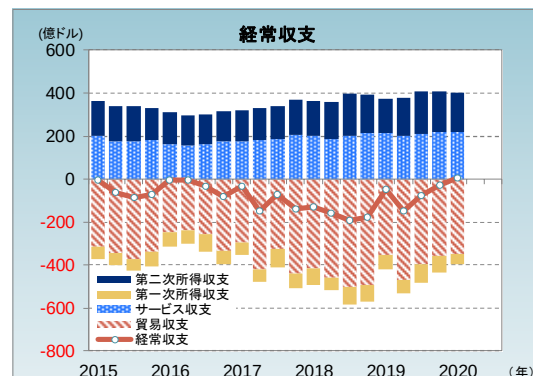
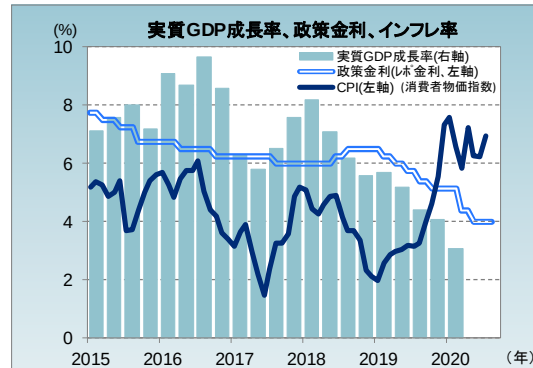
インフレ目標を4ヵ月連続で上回る。生鮮食品の高騰が続くほか、燃料価格も上昇。経済活動再開で、ここに来てサービスも下げ止まるなど、低下は起きずじまい。

【追加利下げ困難】

8月4-6日の金融政策委員会では政策金利据え置き。景気回復が遅れ気味も、インフレ率の高止まりが響き、追加利下げが難しい環境。当面、国債購入で対応。

【景気回復遅れ赤字縮小】

2ヵ月ぶりの赤字も、前年同月の赤字幅の約3分の1。国内景気の回復が海外に比べて遅行し、輸出の前年同月比-10.2%に対して輸入は同-28.4%と大幅減少。



市場動向・見通し

(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
対円 (1ルピー=1.415円)	(1.429円) 1.0%	(1.427円) 0.9%	(1.522円) 7.0%
対米ドル (1米ドル=74.92ルピー)	(75.56ルピー) 0.9%	(75.37ルピー) 0.6%	(71.23ルピー) 4.9%

【投資資金流入vs米ドル買い介入】

8月入り後、市場のリスク許容度改善を背景とした投資資金流入の継続が意識され、ルピー高続く。RBIは米ドル買い介入で対応するも、米ドル余剰感から目先は底堅い展開か。

(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
センセックス株価指数 (37,606.89)	(34,915.80) 7.7%	(33,717.62) 11.5%	(41,253.74) 8.8%

【上昇一服】

投資資金流入、追加景気対策への期待から底堅い一方、予想PERが21倍と割高感があるのに加え、インフレ率高く追加金融緩和期待が後退したことから、上昇一服の相場展開へ。

PER:株価収益率=株価÷1株当たり利益(EPS)(単位:倍)、ここでは向こう12ヵ月ベース

為替
(騰落率)

株式
(騰落率)

出所:各国共Bloombergのデータより、アムンディ・ジャパンが作成

最終ページの「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・為替通信

プラスアルファ

情報提供資料

インドネシア

2020年8月

景気
(実質)
GDP

Q2GDP成長率

-5.3%
前年同期比

PMI:購買担当者景気指数

物価

7月インフレ率

+1.5%
前年同月比

コア:規制価格及び*アタイル品目除く
インフレ目標: +3.0±1%

金融
政策

4.0%

BI:インドネシア銀行(中央銀行)

国際
収支

7月貿易収支

+32.6
億ドル

【7-9月期に政策効果発現へ】

7月の製造業PMIは前月比+7.8の46.9と企業の景況感は回復も、消費マインドの回復は今一つ。大統領の予算執行加速の要請もあり、7-9月期に効果発現へ。

【夏場に底打ち】

+2%を割り込んだのは約20年ぶり。原油価格の回復が下支えするも、需要減退で、幅広い財、サービスで上昇鈍化が続く。経済活動再開で早晚底打ちへ。

【量的緩和の効果見極め】

8月18-19日の定例理事会では据え置き。景気は依然厳しく、低インフレが続くものの、このところ弱含みのルピア相場に配慮。量的緩和策の効果も見極めか。

【輸入が大きく落ち込み】

国内景気の回復が遅れ気味なことが影響し、輸入が前年同月比-32.6%、輸出が同一9.9%となり、黒字幅拡大。輸入は素原材料、消費財で幅広く減少。

市場動向・見通し

	(20年7月末)	1カ月間 (20年6月末)	3カ月間 (20年4月末)	昨年末末 (19年12月末)
対円 (1000ルピア=7.20円)		(7.47円) 3.5%	(7.08円) 1.7%	(7.85円) 8.2%
対米ドル (1米ドル=14,695ルピア)		(14,469ルピア) 1.5%	(15,136ルピア) 3.0%	(13,846ルピア) 5.8%

【景気の戻りぐあいがカギ】

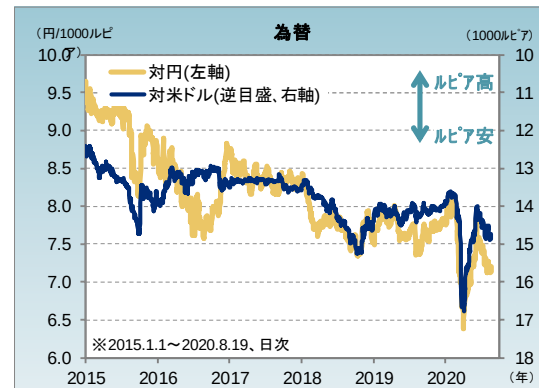
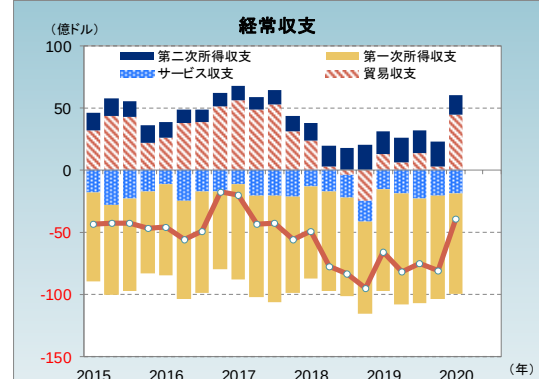
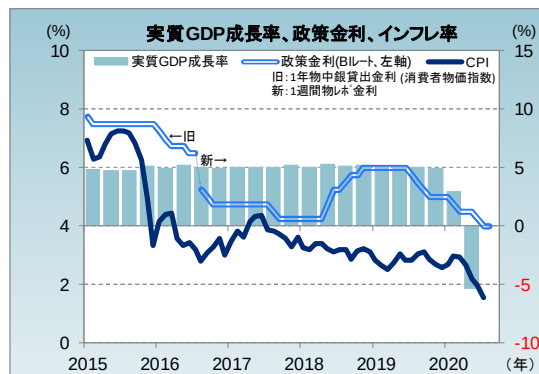
全国的に経済活動再開が遅れていることから、低金利長期化観測が根強く、このところ弱含み。7-9月期に政策効果の発現が期待され、消費マインドに反映されれば底堅い展開となろう。

株式
(騰落率)

	(20年7月末)	1カ月間 (20年6月末)	3カ月間 (20年4月末)	昨年末末 (19年12月末)
ジャカルタ総合指数 (5,149.63)		(4,905.39) 5.0%	(4,716.40) 9.2%	(6,299.54) 18.3%

【徐々に下値切り上げも割高感】

今後景気回復期待が徐々に進むとの見方から徐々に下値切り上がり、直近ではコロナ禍による下落の半値戻しを達成。一方、企業業績への警戒が根強く、予想PER等から割高感強まる。



出所: 各国共Bloombergのデータより、アムンディ・ジャパンが作成

最終ページの「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ・アセットマネジメント

アムンディ・為替通信

プラスアルファ

情報提供資料



英国

2020年8月

景気
(実質)
GDP

Q2GDP成長率
-21.7%
前年同期比

PMI:購買担当者景気指数

物価

7月インフレ率
+1.0%
前年同月比

コア:食品・エネルギーを除く
インフレ目標: +2%

金融
政策

0.1%

中銀:イングランド銀行(BOE)
MPC:金融政策委員会

国際
収支

6月貿易収支
+53.3
億ポンド

[経済正常化が順調に進展]

7月のPMI総合は前月比+9.3の57.0と、5ヵ月ぶりに50を上回る。経済活動再開によるリバウンドが顕著。消費、企業生産、貿易など、全般的に大幅増加。

[多くの品目で改善]

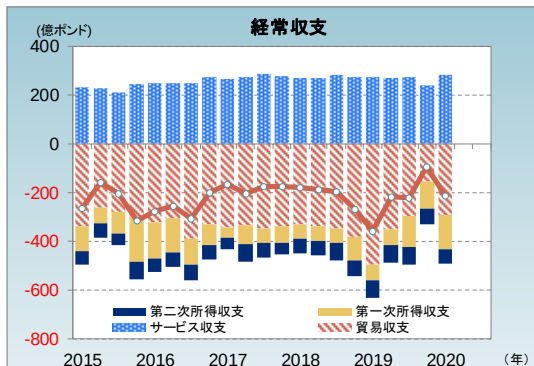
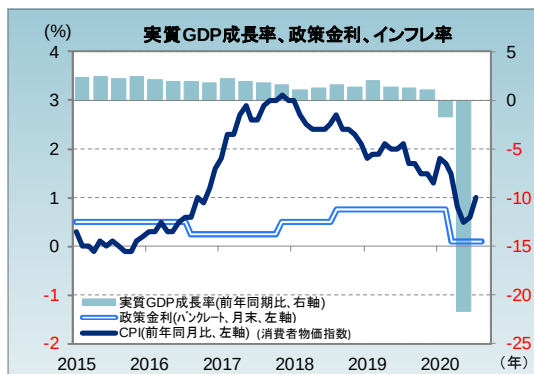
コアは前年同月比+1.8、前月比+0.4。財は、食料以外のほぼすべての品目グループで改善。サービスは娯楽、宿泊で横ばいも多くの品目が上昇。

[景気見通し上方修正]

BOEは8月4-5日のMPCで金融政策を現状維持。同日発表の金融政策報告書では2020年度の景気見通しを大幅マイナス成長ながら上方修正し、景気回復に自信。

[8ヵ月ぶりの輸出入双方増加]

3ヵ月連続の大幅黒字、2019年10月以来の輸出入双方が前月比プラス。経済活動再開が広がり、貿易も正常化が顕著。正常化の進捗で、今後黒字は縮小方向。



市場動向・見通し

	(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
対円 (1ポンド=138.49円)		(133.84円) ↑3.5%	(134.94円) ↑2.6%	(144.13円) ↓3.9%
対米ドル (1ポンド=1.309米ドル)		(1.240米ドル) ↑5.5%	(1.259米ドル) ↑3.9%	(1.326米ドル) ↓1.3%

[景気底上げを好感]

英国では経済活動再開がやや出遅れたものの、その後の景気回復が順調で、安心感が出ている。過去2年の高値圏に到達しつつあり、警戒感が出ているものの、底堅く推移しよう。

	(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
FTSE100指数 (5,897.76)		(6,169.74) ↓4.4%	(5,901.21) ↓0.1%	(7,542.44) ↓21.8%

[業績改善を確認する段階へ]

コロナ禍に下落幅から半値戻しの後弱含みもみ合い。業績下方修正はほぼ一巡したものの、予想PERは16倍台で、割高状態が続く。景気は回復も、当面は業績改善を確認する段階。

PER: 株価収益率=株価÷1株当たり利益(EPS) (単位:倍)、ここでは向こう12ヵ月ベース

出所: 各国共Bloombergのデータより、アムンディ・ジャパンが作成

最終ページの「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・為替通信

プラスアルファ

情報提供資料



南アフリカ

2020年8月

景気
(実質)
GDP

Q1GDP成長率
-0.1%
前年同期比

PMI:購買担当者景気指数
ABSA:南ア合同銀行

物価

6月インフレ率
+2.2%
前年同月比

CPI:食品・エネルギーを除く
インフレ目標: +3~6%

金融
政策

3.5%

中銀:南アフリカ準備銀行(SARB)

国際
収支

6月貿易収支
+466.3
億ランド

[警戒レベル下げで正常化進む]

7月のABSA-PMIは小幅低下。総合は前月比-2.7の51.2。リバウンドの動きが一巡。一方、8月18日から警戒レベルが下げられ、経済活動の正常化は順調に進む。

[ひとまず下げ止まり]

インフレ目標下回る低位も、小幅ながら4か月ぶりに前月比で上昇。品目別には上昇低下にバラつきあるが、娯楽、外食などこれまで制限されていた品目が下げ止まり。

[小幅追加利下げを想定]

7月21-23日の金融政策委員会で0.25%利下げ。年内0.25%追加利下げを想定。中銀は2020年の実質GDP成長率を-7.3%と5月時点の予想から小幅下方修正。

[鉱物輸出が急増]

輸出は前年同月比+6.5%と、3か月ぶりにプラスに転じた一方、輸入は同一-32.8%と大幅減少。経済活動再開が滞り、結果黒字が大幅拡大。貴金属の輸出が好調。

市場動向・見通し

(20年7月末)	1か月間 (20年6月末)	3か月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
対円 (1ランド=6.20円)	(6.22円) 0.3%	(5.78円) 7.2%	(7.76円) 20.1%
対米ドル (1米ドル=17.07ランド)	(17.35ランド) 1.6%	(18.53ランド) 7.9%	(14.00ランド) 21.9%

[景気先行き不安後退]

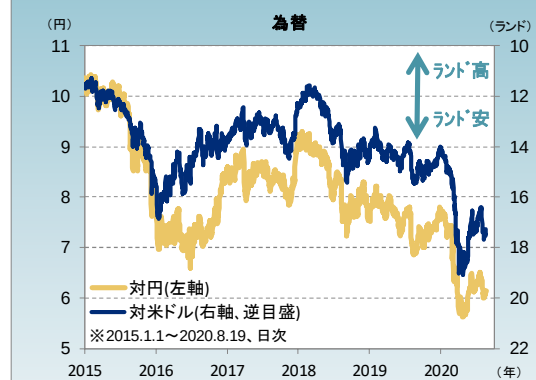
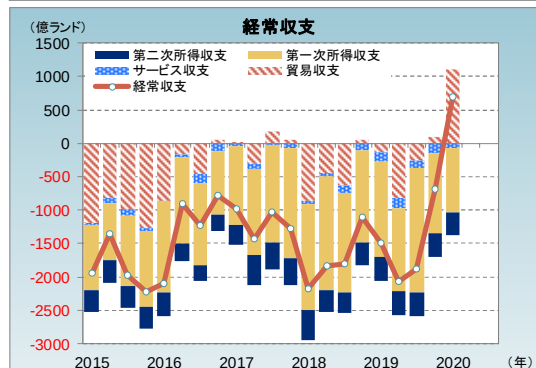
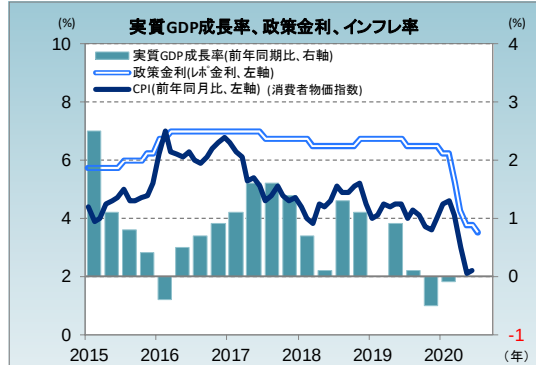
経済活動再開の滞りが懸念され、8月は弱含みの展開も、警戒レベル引き下げが好感され足元持ち直し。米中对立が重しになるも、景気不安後退で、次第に底堅さを増そう。

(20年7月末)	1か月間 (20年6月末)	3か月間 (20年4月末)	昨年末来 (19年12月末)
TOP40株価指数 (51,368.82)	(50,174.95) 2.4%	(46,348.26) 10.8%	(50,816.05) 1.1%

[割高感なく下値不安小さい]

国内景気への不安後退に、貿易など対外的にも経済活動正常化の動きの本格化が好感され、年初来高値更新。予想PER12倍台に割高感もなく、下値不安小さい。

PER:株価収益率=株価÷1株当たり利益(EPS)(単位:倍)、ここでは向こう12ヵ月ベース



出所:各図共Bloombergのデータより、アムンディ・ジャパンが作成

為替
(騰落率)

株式
(騰落率)

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・為替通信

プラスアルファ

情報提供資料



中国

2020年8月

景気
(実質)
GDP

Q2 GDP成長率
+3.2%
前年同期比

PMI:購買担当者景気指数
財新:中国デイトの名称

物価

7月インフレ率
+2.7%
前年同月比

コア:食品・エネルギーを除く
インフレ目標: +3%

金融
政策

3.85%

中銀: 中国人民銀行(PBOC)
政策金利: 1年物LPR (最優通貨出金利)

国際
収支

7月貿易収支
+623
億ドル

注: 1-2月累計

[内需に伸び悩み感]

7月の財新PMI総合は前月比-1.2の54.5と小幅低下。貿易回復などから製造業が好調な一方、サービス業が伸び悩み。雇用環境に不安があり、消費マインドが今一つ。

[コアがさらに低下]

2ヵ月連続上昇も食品価格の影響大きく、コアは前年同月比+0.5%と約10年ぶりの低位。食品以外は幅広く鈍化、もしくは下落となっており、内需の勢いの鈍さ示す。

[内需に不安も様子見継続]

8月も据え置き(4ヵ月連続)。景気の底打ちを受け、様子見姿勢。内需にまだ不安があり、追加利下げの可能性残るも、不動産市況への影響も考慮し、なるべく温存。

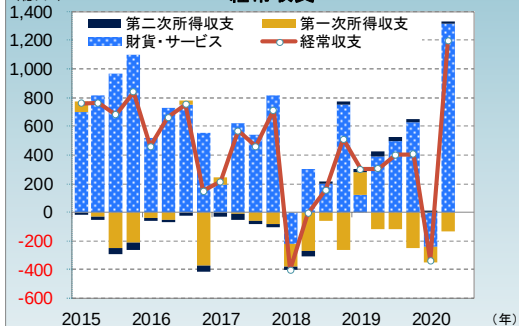
[貿易黒字最大レベル]

黒字幅は2ヵ月ぶりに最大レベルの600億ドル台。経済活動再開に伴い輸出が好調で前年同月比+7.2%。輸入は伸び悩み同-1.4%。ここでも内需の勢いの鈍さ表れる。

実質GDP成長率、政策金利、インフレ率



経常収支



市場動向・見通し

(オフショア市場)

(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末 (19年12月末)
対円 (1元=15.14円)	(15.26円) 0.8%	(15.13円) 0.1%	(15.60円) 2.9%
対米ドル (1米ドル=6.989元)	(7.070元) 1.1%	(7.082元) 1.3%	(6.963元) 0.4%

[景気回復、相対的高金利が追い風]

8月に入って1米ドル7元割れが定着。景気回復、貿易黒字拡大などを映し、中銀も元高方向を容認する姿勢を見せている。金融緩和手控えで金利の相対的な高さも追い風か。

為替



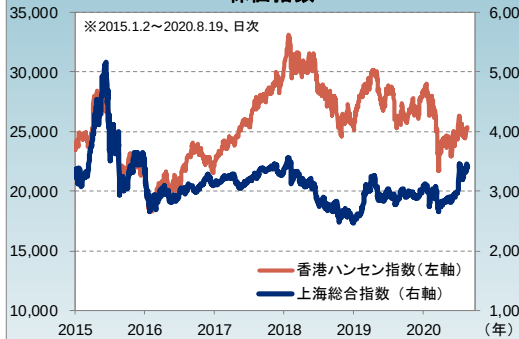
株式
(騰落率)

(20年7月末)	1ヵ月間 (20年6月末)	3ヵ月間 (20年4月末)	昨年末 (19年12月末)
上海総合指数 (3,310.007)	(2,984.674) 10.9%	(2,860.082) 15.7%	(3,050.124) 8.5%
香港ハンセン指数 (24,595.35)	(24,427.19) 0.7%	(24,643.59) 0.2%	(28,189.75) 12.8%

[様子見へ]

景気回復を好感して上海株は急上昇したものの、割高感が強まったほか、企業業績も芳しくなく、その後はもみ合い。内需の伸びに一抹の不安もあり、ひとまず様子見局面へ。

株価指数



出所: 各国共Bloombergのデータより、アムンディ・ジャパンが作成

本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

- ・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うことになります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意しております。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会